

## ⑩外科系 3

### (心臓血管外科)

#### 1. 研修目標

心臓血管外科医として必要な診断法と治療法を身につけること、および患者を全人的視野からとらえる姿勢を形成することを主とし、さらに、周術期全身管理及び救急医療に必要な知識と技術を修得することを目的とする。

#### 2. 研修指導体制

病棟では、心臓血管外科チームの一員として、指導医のマンツーマンでの指導の下に全患者の診療にあたる。手術はもちろん、術前術後の診療に参加する。指導医とともに、集中治療部での重症患者管理を経験する。

学生臨床実習にあたっては、指導医とともに、主治医として学生の指導にあたる。

#### 3. 研修指導責任者 江石 清行

#### 4. 研修内容

##### (1) 研修する疾患

- ①心不全
- ②狭心症、心筋梗塞
- ③不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）
- ④弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症、三尖弁膜症）
- ⑤動脈疾患（真性及び解離性大動脈瘤）
- ⑥静脈・リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）
- ⑦高血圧症（本態性、二次性高血圧症）

##### (2) 以下の研修到達目標のすべてとする。

#### 5. 研修到達目標

##### 5-1 行動目標

- (1) 第一に長崎大学心臓血管外科学教室の一員として誇りを持ち、患者に信頼される医師となることを目標とする。
- (2) 循環器の解剖、生理、病理の基礎的な知識を確実にする。
- (3) 循環器疾患の診断、治療に必要な基本的知識を身につける。  
心疾患・血管疾患の症状、病態生理、自然予後など、
- (4) 定時の手術にできるだけ多く参加し、心臓手術、血管手術の基本的な手技を身につける。
- (5) 救急患者の診療にあたり、救急救命処置が迅速、確実にできる。
- (6) 呼吸循環管理を中心とした重症患者管理の知識、技能を身につける。
- (7) 術前診断、手術適応の決定、手術術式や手術手技選択など責任をもって行う。
- (8) 術後の評価、合併症の判断も責任もって行い、外来観察の注意点などを明白に伝える能力を身につける。

##### 5-2 経験目標

- (1) 心疾患・血管疾患の臨床診療の基本的技能を身につける。  
病歴聴取、身体診察法、心電図・X線検査・超音波検査・ドプラー血流計などの正しい操作と読影、薬物療法など。
- (2) 基本的な医療処置が適切に出来る。  
消毒、局所麻酔、静脈穿刺、胸腔穿刺、胃管挿入、導尿カテーテル挿入・留置、皮膚切開・縫合、結紮、創傷処置など。
- (3) 血管手術の基本的な手技を身につける。  
血管手術の補助手段、特に大動脈遮断時の部位に応じた補助手段をよく理解する。

- (4) 心臓大血管手術の補助手段について、その理論と基本的手技を理解する。  
人工心肺、体外循環法、心筋保護法など。特に人工心肺の操作法。
- (5) 医療機器の原理を理解し、自分で正しい操作ができる。  
人工呼吸器、直流除細動器、大動脈内バルーンポンプ（IABP）、輸液ポンプなど。

外科3(心臓血管外科)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	7:30~ 回診/ICU カン ファ	7:30~ 回診/ICU カン ファ	7:30~ 回診/ICU カン ファ	7:30~ 回診/ICU カン ファ	7:30~ 回診/ICU カン ファ		
9:00						8:15~ ICUカンファ	8:15~ ICUカンファ
10:00	外来	病棟	病棟	病棟	外来	病棟	病棟
11:00	外来	病棟	外来	病棟	外来		
12:00		手術		手術			
13:00							
14:00	カルテ カン ファ				病棟・検査		
15:00							
16:00	病棟・検査		病棟・検査				
17:00		DMカンファ		DMカンファ			
18:00	説明会				術前カンファ		
19:00				循環器合同 カンファ			
20:00							
21:00							